**リベラ　Libera**　（702文字）

ロンドンを拠点とするヴォーカル・グループ「リベラ」に所属しているのは、「どこにでもいる普通の」少年たちである。しかし、そのレコーディングや演奏が示しているとおり、リベラが聴かせる音楽は唯一無二である。

日本の聴衆のあいだでよく知られているリベラは、2005年の初来日公演以来、幾度もこの国を訪れており、日本人作曲家たちとのコラボレーションも行いながら、コンサートの開催はもとより、テレビ・ラジオ出演、映画やドラマなどのサウンドトラックへの参加など、幅広い活動を展開してきた。

リベラのメンバーたちは、伝統的かつモダンな、この上なく独特なサウンドをつくり出す。彼らが舞台で身に着ける、お馴染みのゆったりとした白い衣服は、リベラの音楽スタイルの由緒あるルーツを象徴している。しかし彼らがつむぐ音楽は、幾つもの世代を惹きつけており、現代の若い音楽ファンたちのもとにも届いている。また、世界中のアルバム・チャートでのリベラの華々しい成功は、この他に類を見ない「ボーイズ・ユニット」がもつ絶大な魅力を物語っている。海外ツアーを重ね、世界各地の聴衆を魅了してやまないリベラは、イギリスだけでなく、北アメリカ、フィリピン、シンガポール、中国、韓国など、数多くの国で熱狂的なファンに支えられている。

リベラの歌い手は、多様なバックグラウンドをもつ7歳から16歳までの少年たちで、イギリスのサウス・ロンドンにあるさまざまな学校に通っている。リベラの歌声は、もはや既存の枠組みには分類不可能な個性を誇るが、彼らが聴かせる光り輝く神秘的な和音、天上的なハーモニー、そして並外れて広い声楽表現の幅が、彼らのサウンドを比類のないものにしている。